

ラグビーワールドカップ 2019™ ファンゾーン運営計画（案）について

I 多摩会場

1 全体概要

(1) 会場

- 調布駅前広場・調布市グリーンホール
- ※ パブリックビューイングについて、調布市グリーンホール（大ホール）が利用できない日（9月21・22日、10月26・27日、11月2日）は、代替会場として、①調布市グリーンホール（小ホール）、②調布市文化会館たづくり大会議場、③調布クレストンホテル宴会場のいずれかを活用
- ※ 屋外でもパブリックビューイングを開催

(2) 開催日

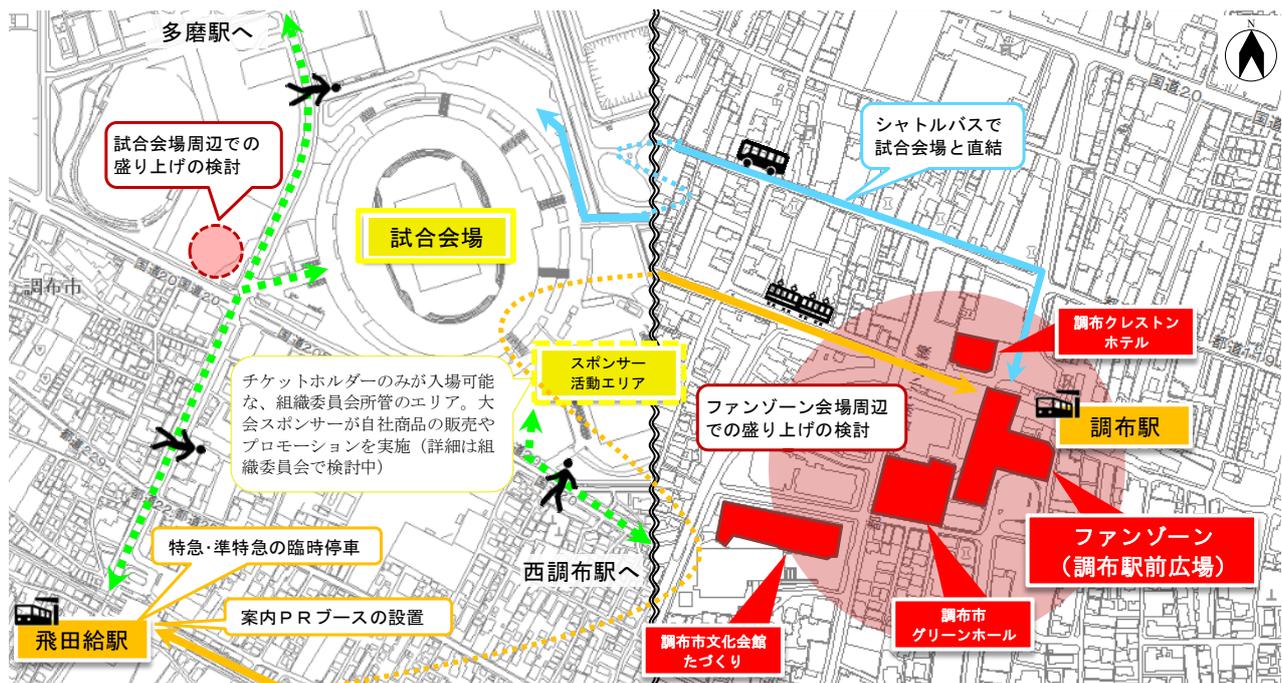
- 東京スタジアムの試合日及び大会期間中の土・日曜日（15日間）

(3) 想定来場者数

- 東京スタジアムの試合日及び大会期間中の土・日曜日：平均5,000人（1日当たり）

2 基本コンセプト

試合会場との一体性を確保し、
スタジアムの玄関として、試合への期待と試合後の余韻を創出



- 試合への期待を高め、試合後は余韻を楽しむ場所の位置付けを担うものとしてファンゾーンを運営

3 実施運営

(1) パブリックビューイング

- 調布市グリーンホールにおける快適な環境での屋内パブリックビューイング
- 開放感あふれる屋外2か所でパブリックビューイングを追加実施
 - ・ ステージビジョン
 - ・ トリエ京王調布B館の壁面スクリーン（日没後）



壁面スクリーン（イメージ）

(2) 交流エリア

- 日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の観光PRや名産品の紹介、ラグビーの魅力発信等により、来場者が交流できる空間を創出

(3) ラグビー体験

- ラグビートップリーグ等で活躍する地元6チームと連携し、日替わりでトップ選手等によるパス回しやリフトアップ等のラグビー体験
- ①サントリーサンゴリアス ②リコーブラックラムズ ③東芝ブレイブルーパス
④キャノンイーグルス ⑤日野レッドドルフィンズ ⑥栗田工業ウォーターガッシュ

(4) ステージイベント

- 試合の見どころ解説や試合を振り返るトークショー、コンサート、地域団体や文化・芸術団体によるパフォーマンス等を実施
- ファンゾーン区部会場とインターネット中継で結び、会場の盛り上がりを共有

(5) ケータリング

- 誰もが気軽に楽しめ、また訪日外国人が日本の食文化を楽しめるとともに、出場チームの食文化を紹介できるメニューを提供

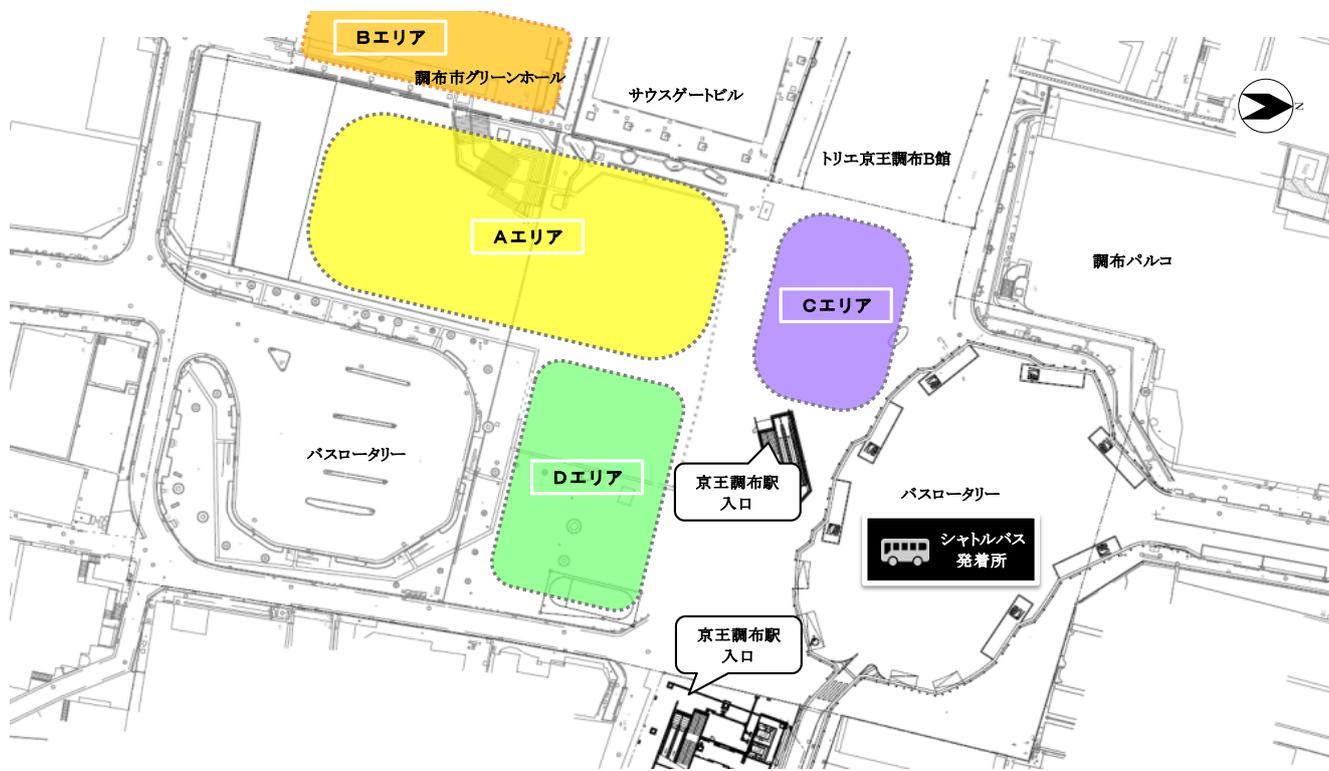
(6) 公式グッズ販売等

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会の公式グッズを販売
- 大会スポンサーの活動スペースとして、スポンサーブースを設置

(7) 警備・安全対策等

- 入場時に手荷物検査を実施し、危険物又はそれに類する物品の持ち込みを排除
- 組織委員会が策定したガイドラインに基づき、会場の一定範囲にフェンスを設置

4 会場レイアウト (イメージ)



エリア	実施コンテンツ
Aエリア	ステージイベント、パブリックビューイング (屋外/ステージビジョン)、 ケータリング、公式グッズ販売、スポンサーブース
Bエリア	パブリックビューイング (屋内/ホールスクリーン)
Cエリア	ラグビー体験、パブリックビューイング (屋外/壁面スクリーン)
Dエリア	交流エリア (日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の魅力発信、ラグ ビーの魅力発信等)、インフォメーション

(今後変更の可能性あり)

※ 地元と連携し周辺エリアにおいても盛り上げ

II 区部会場

1 全体概要

(1) 会場

- 東京スポーツスクエア（旧 1000days 劇場）

(2) 開催日

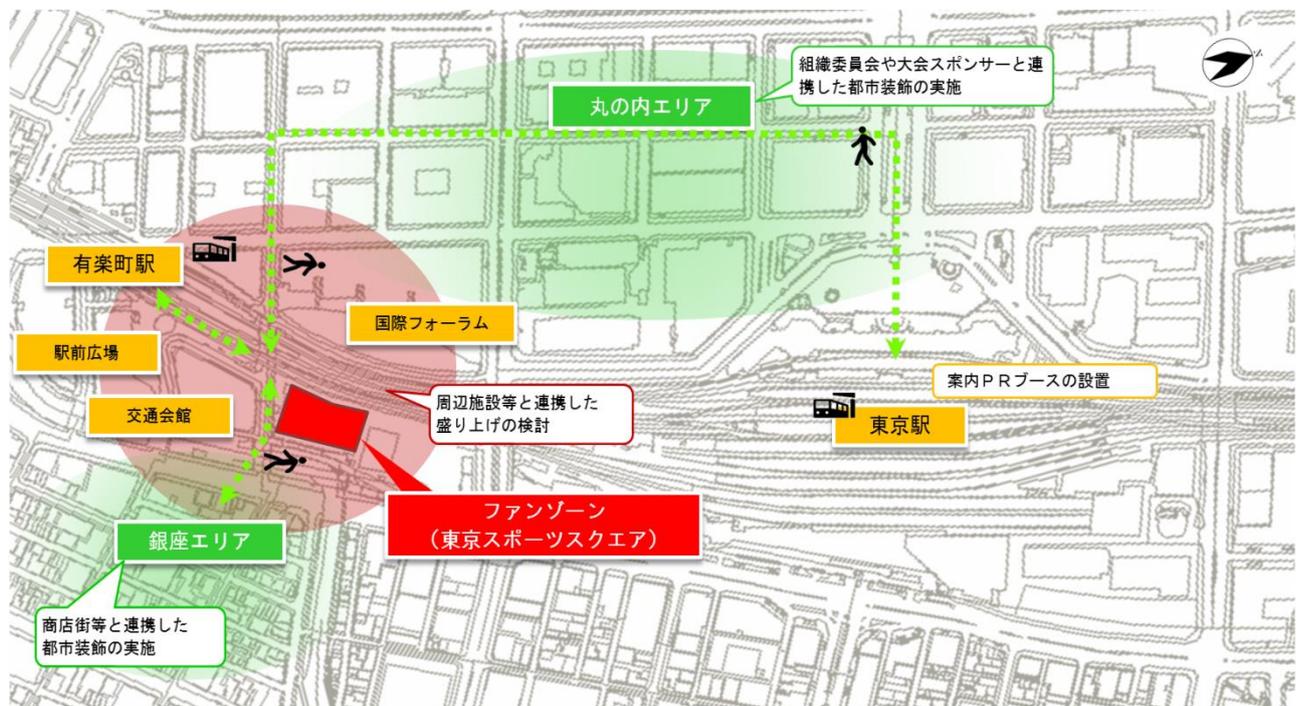
- 東京スタジアムの試合日及び大会期間中の土・日曜日（15 日間）
- 上記以外の試合日（11 日間。パブリックビューイングを中心とした開催）
- ※ その他の非試合日についても公式グッズ販売や飲食の提供等ができるよう検討

(3) 想定来場者数

- 東京スタジアムでの試合日及び大会期間中の土・日曜日：平均 5,000 人（1 日当たり）
- 上記以外の試合日（平日）：平均 2,500 人（1 日当たり）

2 基本コンセプト

丸の内・銀座エリアへの広がりを持たせ、
東京・日本の玄関として、国内外の来場者をおもてなし



- 面的広がりを創出し、ラグビーワールドカップを広くPRするとともに、その中心拠点としてファンゾーンを運営
- 区部会場を東京・日本の玄関として、都だけでなく他の開催都市を含め、ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会を幅広くPR

3 実施運営

(1) パブリックビューイング

- 1階では、幅約10mの大型マルチビジョンと高性能音響設備による大迫力のパブリックビューイング。さらに、サブビジョンを2台設置し、多くの観客が観戦できる環境を整備
- 2階では、芝生を模した床面に座って、子供やお年寄りでもゆったりと試合を観戦できる空間を創出



マルチビジョン（イメージ）

(2) 交流エリア

- 日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の観光PRや名産品の紹介、他の開催都市に関する情報発信等により、日本全体のファンゾーンとして、来場者の交流できる空間を創出

(3) ラグビー体験

- 大人でも楽しむことができるよう、RWC2019に関連する展示やフォトスポットの設置、各出場国の紹介など、試合への興味・関心をより深めるものを中心とした内容により実施

(4) ステージイベント

- 試合の見どころ解説や試合を振り返るトークショー、コンサート、地域団体や文化・芸術団体によるパフォーマンス等を実施
- ファンゾーン多摩会場とインターネット中継で結び、会場の盛り上がりを共有

(5) ケータリング

- 1階にラグビーバー（アルコール有り）、2階にラグビーカフェ（アルコール無し）を設置し、幅広い来場者に即した様々な飲食物を提供

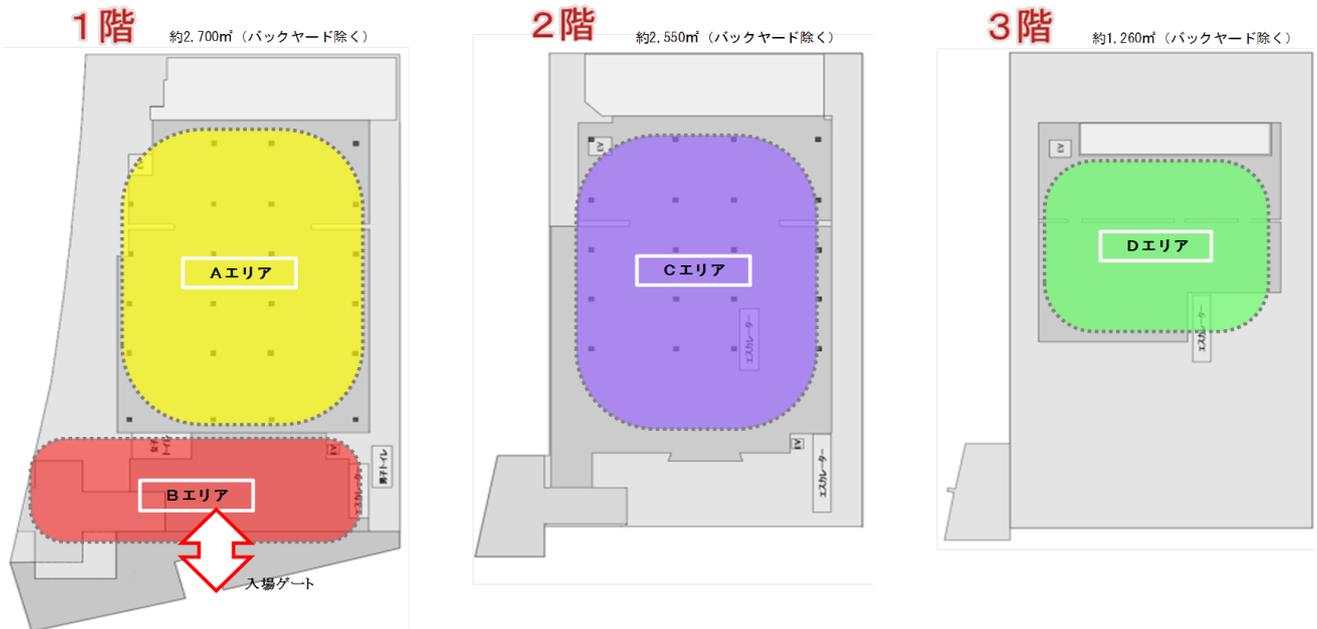
(6) 公式グッズ販売等

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会の公式グッズを販売
- 大会スポンサーの活動スペースとして、スポンサーブースを設置

(7) 警備・安全対策等

- 入場時に手荷物検査を実施し、危険物又はそれに類する物品の持ち込みを排除

4 会場レイアウト (イメージ)



エリア	実施コンテンツ
Aエリア	パブリックビューイング (マルチビジョン1台・サブビジョン2台)、 ステージイベント、ケータリング、ラグビー体験
Bエリア	ケータリング、公式グッズ販売、インフォメーション
Cエリア	パブリックビューイング、ケータリング (ノンアルコール)、ラグビー体験
Dエリア	交流エリア (日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の魅力発信、他の開催都市等に関する情報発信等)

(今後変更の可能性あり)

※ 東京国際フォーラムや東京交通会館等の施設と連携し周辺エリアにおいても盛り上げ

ラグビーワールドカップ 2019™
ファンゾーン in 東京
運 営 計 画

(案)

平成31年4月
東京都

目 次

1 総論

- 1-1 実施にあたっての前提 1
- 1-2 会場・基本コンセプト
 - 1-2-1 基本的考え方 1
 - 1-2-2 会場 2

2 多摩会場

- 2-1 基本コンセプト 4
- 2-2 開催日程 5
- 2-3 来場者想定 6
- 2-4 実施コンテンツ
 - 2-4-1 基本的考え方 6
 - 2-4-2 多摩会場の特色 6
 - 2-4-3 パブリックビューイング . . . 7
 - 2-4-4 スポンサーブース 7
 - 2-4-5 公式グッズ販売 7
 - 2-4-6 ケータリング 7
 - 2-4-7 ステージイベント 8
 - 2-4-8 ラグビー体験 8
 - 2-4-9 交流エリア 8
- 2-5 多摩会場の開催イメージ . . . 9

3 区部会場

- 3-1 基本コンセプト 10
- 3-2 開催日程 11
- 3-3 来場者想定 12
- 3-4 実施コンテンツ
 - 3-4-1 基本的考え方 13
 - 3-4-2 区部会場の特色 13
 - 3-4-3 パブリックビューイング . . . 14
 - 3-4-4 スポンサーブース 14
 - 3-4-5 公式グッズ販売 14
 - 3-4-6 ケータリング 14
 - 3-4-7 ステージイベント 15
 - 3-4-8 ラグビー体験 15
 - 3-4-9 交流エリア 15
- 3-5 区部会場の開催イメージ 16

4 実施にあたっての留意点

- 4-1 警備 17
- 4-2 医療 17
- 4-3 ボランティア 17
- 4-4 多言語対応 17
- 4-5 アクセシビリティ対応 17
- 4-6 受動喫煙対策 17
- 4-7 環境配慮の取組 18

1 総論

1-1 実施にあたっての前提

- ファンゾーンとは、ラグビーワールドカップ 2019™（以下、「RWC2019」という。）の開催期間中に開催都市に設置され、大型スクリーンによる試合映像の放映（パブリックビューイング）や、ケータリングによる飲食の提供、RWC2019 のコマーシャルパートナーによるプロモーション活動、ラグビーの普及活動等が行われる場である。
- ファンゾーンの開催は、公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会（以下、「JR2019」という。）と開催都市である都との間で締結した「ラグビーワールドカップ 2019 開催基本契約」に規定され、都はこれを提供する義務を負っている。
- JR2019 は、「ラグビーワールドカップ 2019™ ファンゾーンガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）を策定し、各開催都市がファンゾーンの開催にあたり、遵守すべき事項等を取りまとめている。都は、このガイドラインを踏まえ検討を進め、会場候補地については、昨年 7 月に選定し、JR2019 から本年 1 月に承認を得た。今後、JR2019 等の関係機関と調整を図りながら、ファンゾーンの開催に向け、準備を行っていく。

1-2 会場・基本コンセプト

1-2-1 基本的考え方

- ファンゾーンは、試合チケットの有無に関わらず、無料で誰もが気軽に訪れることができる場である。
- 試合開始前には、ファンゾーンにおいて、試合への期待を大いに膨らまし、試合後には試合を振り返り、その余韻を楽しむ。友人・知人同士だけでなく、全ての人が、国籍や性別、応援するチーム等の垣根を越え、ラグビーを愛する心を持って真剣に語り、打ち解けあい、その輪を広げていく場となるものである。
- すなわちファンゾーンは、単にパブリックビューイングやラグビーの普及活動が行われる場であるだけでなく、RWC2019 を象徴する場としていくことが求められるものである。
- ファンゾーンでは、「大会ビジョン」である「絆 協創 そして前へ」を実現させる必要があり、試合以外に敵味方はないという「ノーサイドの精神」を、訪れた全ての人ができる場としなければならない。都におけるファンゾーンは、こうした考え方を基本とし検討を進めていく。

ラグビーワールドカップ 2019 大会ビジョン

(JR2019 作成)

「絆 協創 そして前へ」

日本と世界の人々を強い絆で結び、
誰も経験したことのない、
ラグビーと仲間たちの祭典を協創しよう。
すべての人の輝く未来へ、進もう心をひとつに。

- また、JR2019 は、ファンゾーンの運営ビジョンと運営方針を定めたものとして「ファンゾーンポリシー運営ビジョン」を以下のとおり規定。ファンゾーンの検討にあたっては、これも念頭に置きながら進めていくことが必要である。

ラグビーワールドカップ2019 ファンゾーンポリシー運営ビジョン

(JR2019 作成)

- ・ **誰もが気軽に集い、楽しめる場所の提供**

ラグビーファンのみならず、家族連れ・子どもたちをはじめ老若男女ラグビーに馴染みがない人たちも気軽に集い、楽しみ、交流できるファンゾーンとする。試合観戦やラグビ一体験等を通じてラグビーの精神を広く発信し、国内におけるラグビーファンを更に拡大させるとともに、ラグビーを真のグローバルスポーツとして発展させることに貢献する。

- ・ **地域の特色ある雰囲気への創出**

日本的「お祭り」の雰囲気や食文化の提供等、12 開催都市が各都市の特色を生かしたファンゾーン空間を演出し、訪れたすべての人を最大限のおもてなし精神をもって歓迎する。

- ・ **興奮と感動の共有**

訪れたすべての人たちがラグビーワールドカップ™の興奮と感動を共有し、忘れられない記憶を刻む観客体験を創出する。

1-2-2 会場

- ファンゾーンの会場は、都が選定し JR2019 を通じてラグビーワールドカップリミテッド（以下、「RWCL」という。）の承認を経て決定される。会場の選定にあたっては、日常的に人通りが多く、訪日外国人を含め誰にでもアクセスしやすい場所に設置することが求められている。
- 都においては、試合会場（東京スタジアム）が所在する多摩地域に1か所（ただし、交通負荷軽減のため試合会場の周囲は避ける）、大会期間中の全都的な盛り上げを図るため、区部にも1か所設置することとし、次の会場候補地を選定。平成30年7月にJR2019に申請を行い、平成31年1月に承認を得た。

【多摩会場】

- ◆ **名 称**：調布駅前広場・調布市グリーンホール

- ◆ **住 所**：調布市小島町2-47-1 ほか（調布駅徒歩1分）

- ◆ **特 徴**

- ・ 調布駅前広場は、京王線調布駅付近連続立体交差事業により、平成24年に調布駅が地下化されたことに伴い、整備
- ・ 調布市グリーンホールは、調布市が設置した施設であり、財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理を受託。大ホール（定員1,307人）及び小ホール（定員300

人)がある。

- ・ 周辺には商業施設や文化施設等が集積。バスロータリーが南北に整備されており、JR三鷹駅や渋谷駅、小田急線狛江駅、田園都市線二子玉川駅方面へ向かうバスが運行。また京王線調布駅は、京王線（本線）と京王相模原線との分岐駅であり、特急の停車駅である。
- ・ RWC2019 開催時には、試合会場である東京スタジアムとバスロータリー間を結ぶシャトルバスを運行（予定）するとともに、京王線飛田給駅に急行系列車（急行・準特急・特急）を臨時停車（予定）させることで、ファンゾーンを試合会場と一体のものとして運営していくことが可能

◆その他

- ・ 調布市グリーンホール（大ホール）が利用できない日（9月21・22日、10月26・27日、11月2日）は、以下の代替会場を活用
 - (1) 調布市グリーンホール（小ホール）
 - (2) 調布市文化会館たづくり（大会議場）
 - (3) 調布クレストンホテル（宴会場）

【区部会場】

◆名 称：東京スポーツスクエア（旧 1000days 劇場）

◆住 所：千代田区丸の内 3-8-3（有楽町駅徒歩 1 分）

◆特 徴

- ・ 旧東京都丸の内庁舎跡地に開設された劇場の跡地施設であり、都が所有
- ・ JR 有楽町駅、東京メトロ有楽町駅の直近であり、周囲にはその他にも東京駅、銀座駅、銀座一丁目駅、日比谷駅、宝町駅、二重橋駅等がある。いずれの駅からも徒歩で来場することが可能
- ・ 周辺には、皇居や銀座、丸の内等、都を象徴するエリアが集積し、国内外から観光客・買い物客が多く訪れ、平日にはビジネスパーソンも多い。
- ・ RWC2019 期間中には、東京駅を經由して試合会場やファンゾーンを訪れる人が多いと考えられる。東京駅から有楽町駅へと続く一帯の地域で、RWC の盛り上げを図ることにより、更なる PR 効果が期待できる。

2 多摩会場

2-1 基本コンセプト

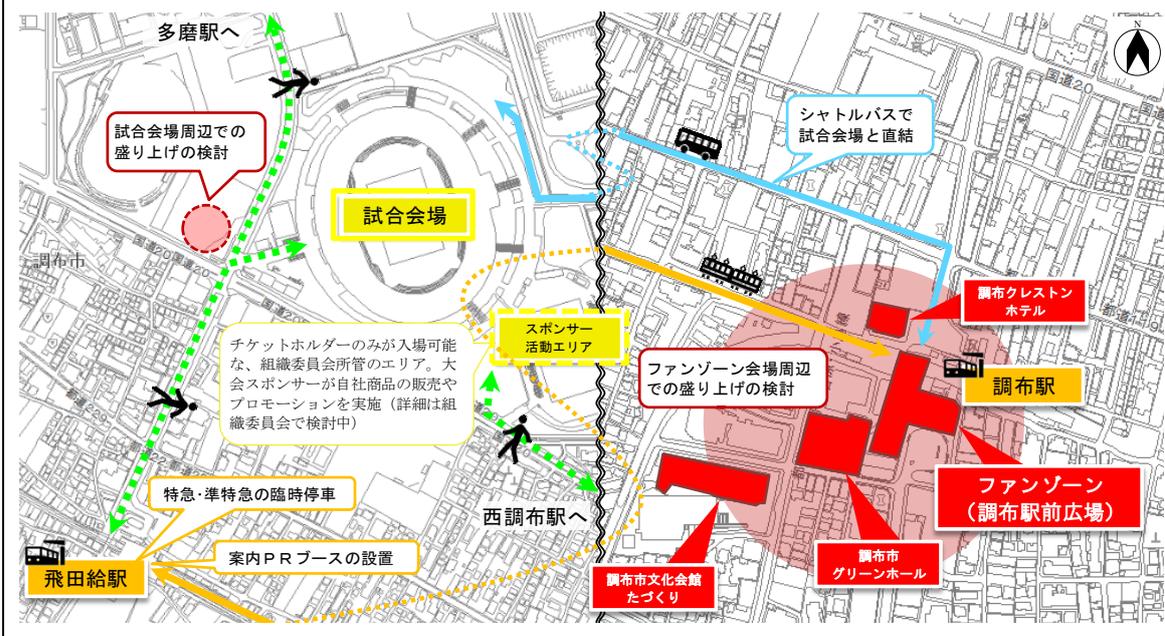
- ファンゾーンの基本コンセプトは、「1-2-1 基本的考え方」を踏まえ設定する。多摩会場と区部会場では、立地等の点で異なることから、上記の大会ビジョンをファンゾーンにおいて効果的に実現していくためには、それぞれの立地特性を十分に考慮し、個別にコンセプトを設定することが必要である。多摩会場においては、以下のとおり基本コンセプトを設定する。

【多摩会場 基本コンセプト】

試合会場との一体性を確保し、
スタジアムの玄関として、
試合への期待と試合後の余韻を創出

- ・ 国内外のラグビーファンが交流できる空間を創出
- ・ 試合会場である東京スタジアムとの一体感を創出
- ・ ファンゾーンだけに止まらず、調布市や地元商店街等とも連携し、都市装飾や飲食提供等により、街全体を活用して大会を盛り上げ

試合への期待を高め、試合後は余韻を楽しむ場所の位置付けを担うものとしてファンゾーンを運営していく。



2-2 開催日程

- ファンゾーンの開催日数について、ガイドラインは、以下の日を含み最低 10 日間開催するものとして、開催都市が設定すると規定している。都においては最低 13 日間となる。
 - (1) 自開催都市での RWC 試合日（都においては 8 日間）
 - (2) 全ての日本代表の試合（4 日間。うち 2 日間は(1)と重複）
 - (3) RWC 準決勝、決勝（3 日間）
- 都においては、より多くの方々に RWC2019 の興奮と感動を共有していただくため、上記の開催日数に加え、その他の土・日曜日を加えた以下の 15 日間とする。
- ファンゾーンの開催時間について、ガイドラインは、以下の要素を考慮の上、開催都市が設定すると規定している。
 - (1) 試合のキックオフ時刻
 - (2) 公共交通機関の営業時間
 - (3) 市民の安全確保
 - (4) 近隣住民への騒音の影響
- 多摩会場においては、上記の要素を考慮し以下のとおり設定する。ただし、東京スタジアムで試合が開催される場合にあっては、観戦客の動向を踏まえながら、開場時間の前倒しや終了時間の後倒しなど柔軟に対応していく。

日 付	試 合	東京スタジアム での試合	開催時間
9 月 20 日（金）	開 会 式 プール戦	試合あり	12:00～22:30
9 月 21 日（土）	プール戦	試合あり	12:00～22:00
9 月 22 日（日）	プール戦		12:00～22:00
9 月 28 日（土）	プール戦		12:00～22:00
9 月 29 日（日）	プール戦	試合あり	12:00～20:00
10 月 5 日（土）	プール戦	試合あり	12:00～22:00
10 月 6 日（日）	プール戦	試合あり	12:00～20:00
10 月 12 日（土）	プール戦		12:00～22:00
10 月 13 日（日）	プール戦		12:00～22:00
10 月 19 日（土）	準々決勝	試合あり	14:00～22:00
10 月 20 日（日）	準々決勝	試合あり	14:00～22:00
10 月 26 日（土）	準 決 勝		14:00～21:00
10 月 27 日（日）	準 決 勝		14:00～22:00
11 月 1 日（金）	3 位決定戦	試合あり	14:00～22:00
11 月 2 日（土）	決 勝 閉 会 式		14:00～22:00

※ 開催時間については、今後変更の可能性あり

2-3 来場者想定

- ファンゾーンについて、会場の広さやコンテンツ、立地特性等の要素を踏まえ、開催期間中、1日当たり平均5,000人、15日間で総計75,000人の来場を想定する。
- ただし、日本代表チームの試合日や、東京スタジアムで試合が行われる日等については、より多くの来場者が見込まれるため、開催にあたっては、東京スタジアムでの試合の有無や内容により、来場者数に幅を持たせながら準備を行う。

2-4 実施コンテンツ

2-4-1 基本的考え方

- ガイドラインにおいては、以下のコンテンツを実施するエリアをファンゾーンに設置することが求められており、その具体的な内容については、都において検討し、JR2019の承認のもと実施していくこととなる。
 - (1) パブリックビューイング
 - (2) スポンサーブース
 - (3) 公式グッズ販売
 - (4) ケータリング
 - (5) ステージイベント
 - (6) ラグビー体験
- 上記「2-1 基本コンセプト」を表現していくためには、ファンゾーンで実施するコンテンツの内容に創意工夫を凝らし、都ならではのものとし、来場者に高い満足感を得てもらえるものとする必要がある。
- そのためには、両会場の地域特性を十分に踏まえ、ファンゾーンへ来場する方々を想定するとともに、施設の特性によって生じる効果や制約等を踏まえ検討を行っていくものとする。

2-4-2 多摩会場の特色

<地域特性>

- ・調布市の人口は各世代にバランスよく分布し、幅広い年齢層が在住
- ・京王線沿線には大学や高校が多く、他路線よりも学生利用者が多い。
- ・トップリーグのラグビークラブチームが多数存在
- ・試合会場に近接するため、試合日はチケットホルダー（外国人を含む）が多く来場することが見込まれる。
 - 想定される主な来場者は、国内外のチケットホルダー、ラグビーファン、ファミリー、学生 等

<施設特性>

- ・公共空間・公共施設であるため常設ができず、週毎に設置・撤去が必要
- ・駅前広場が屋外であるため天候や騒音等の課題がある。
- ・開放感があり、賑やかな様子が多くの人に伝わりやすい。
 - 体験や交流を基本とした内容により、「する」ことを通じた特別感の創出を中心に設定

2-4-3 パブリックビューイング

- 多摩会場においては、以下のとおりパブリックビューイングを実施する。

パブリックビューイング会場		特 色
多摩会場	調布市グリーンホール*	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンゾーン開催日（9月21・22日、10月26・27日、11月2日を除く）の全試合を放映 ・スクリーンに試合映像を投映し、ホールならではの優れた音響環境による観戦体験を提供 ・固定座席により、落ち着いた環境で、じっくり楽しめるパブリックビューイングを提供
	調布駅前広場 （トリエ京王調布B館 壁面スクリーン）	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンゾーン開催日の日没後の全試合を放映 ・ビル壁面を巨大スクリーンに見立て試合映像を投映 ・ラグビー体験エリアの人工芝やケータリングエリアの座席等、様々な場所から試合観戦
	調布駅前広場 （ステージビジョン）	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンゾーン開催日における日中の全試合の放映 ・ステージエリアにビジョンを設置し試合を放映

* 調布市グリーンホール（大ホール）が利用できない日（9月21・22日、10月26・27日、11月2日）は、代替会場を活用

2-4-4 スポンサーブース

- ガイドラインに基づき、ワールドワイドパートナー、オフィシャルスポンサー、トーナメントサプライヤーの活動スペースとして、スポンサーブースを設置する。
- スポンサーブースへの出展の有無や具体的な活動内容は、JR2019を通じて都に情報提供が行われることとされており、これを踏まえ都において必要なスペースの確保や配置等を行う。

2-4-5 公式グッズ販売

- ガイドラインに基づき、RWC2019の公式グッズを販売するエリアを設置する。
- RWC2019の公式グッズの企画や販売等に関する権利は、RWCLと契約した事業者が有しており、ファンゾーン内における公式グッズ販売に係る活動は、当該事業者が実施する。
- できるだけ多くの来場者が希望する商品を購入できるよう、都は当該事業者と連携し、全体の運営を行う。

2-4-6 ケータリング

- ガイドラインに基づき、来場者に対して飲食の販売を行うケータリングエリアを設置する。
- メニューの設定にあたっては、誰もが気軽に楽しめ、また訪日外国人が日本の食文化を楽しめるとともに、出場チームの食文化を紹介できるようなものとする。

- なお、ガイドラインの規定により、大会スポンサー（ハイネケンやサントリーホールディングス等）のスポンサーカテゴリと競合する品目は提供ができないものとされており、メニューの設定にあたっては、十分な注意を行う。

2-4-7 ステージイベント

- ガイドラインに基づき、会場内にステージを設置し、試合が行われていない時間帯において、イベントを実施することにより、会場の盛り上げを行う。
- 試合前においては試合への期待を高め、試合後には試合の余韻を楽しむことができるものとなるよう、試合の見どころ解説や試合を振り返るトークショー、コンサート、地域団体や文化・芸術団体によるパフォーマンス等を実施する。
- また、ファンゾーン区部会場とインターネット中継で結び、会場の盛り上げを共有する。

2-4-8 ラグビー体験

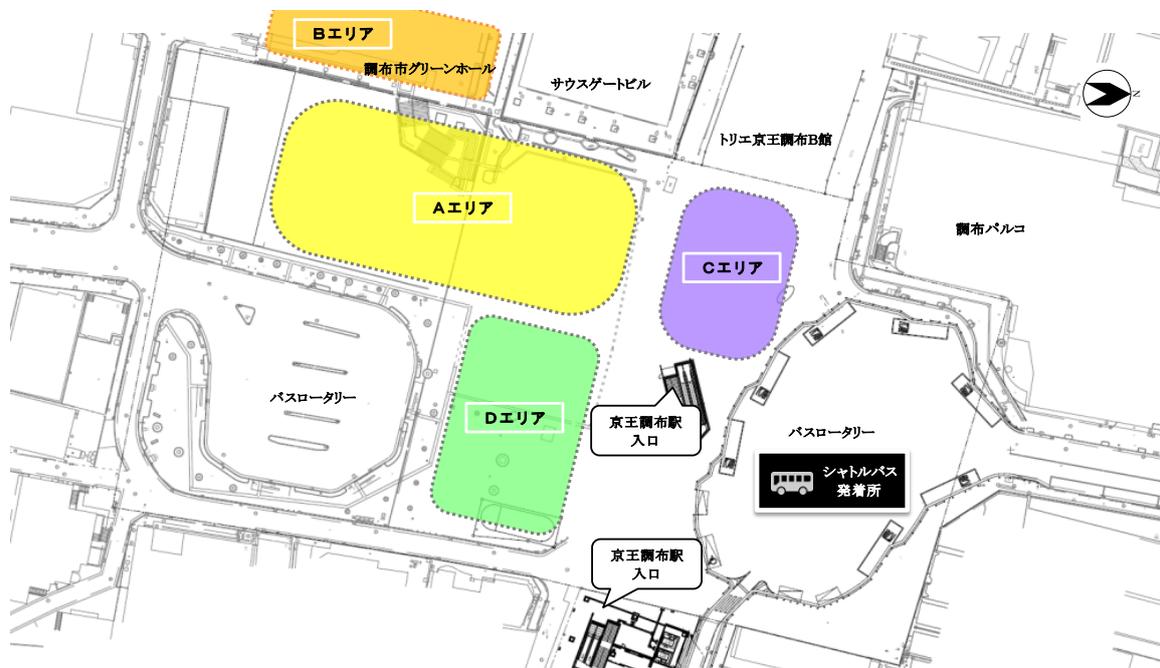
- ガイドラインに基づき、会場内にラグビーの普及活動や参加型体験が実施可能なエリアを設置する。
- 多摩会場にあつては、周辺地域にラグビートップリーグ等で活躍する以下のクラブチームが存在している。各チームと連携し、日替わりでトップ選手等によるパス回しやリフトアップ等のラグビー体験を実施する。
 - (1) サントリーサンゴリアス
 - (2) リコーブラックラムズ
 - (3) 東芝ブレイブルーパス
 - (4) キヤノンイーグルス
 - (5) 日野レッドドルフィンズ
 - (6) 栗田工業ウォーターガッシュ

2-4-9 交流エリア

- 上記以外のコンテンツについても RWCL が事前に承認したものについては実施することができる。都においては、日本や都、地域の魅力を発信するとともに、国籍や応援するチームの垣根を超えて、相互に理解を深めることができる交流エリアを設置する。
- 多摩会場にあつては、日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の観光PRや名産品の紹介、ラグビーの魅力発信等により、来場者が交流できる空間を創出する。

2-5 多摩会場の開催イメージ

【多摩会場コンセプト】誰もが気軽に参加できるトップレベルのラグビー体験



エリア	実施コンテンツ
Aエリア	ステージイベント、パブリックビューイング（屋外／ステージビジョン）、ケータリング、公式グッズ販売、スポンサーブース
Bエリア	パブリックビューイング（屋内／ホールスクリーン）
Cエリア	ラグビー体験、パブリックビューイング（屋外／壁面スクリーン）
Dエリア	交流エリア（日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の魅力発信、ラグビーの魅力発信等）、インフォメーション

※ 地元と連携し周辺エリアにおいても盛り上げを図る。

3 区部会場

3-1 基本コンセプト

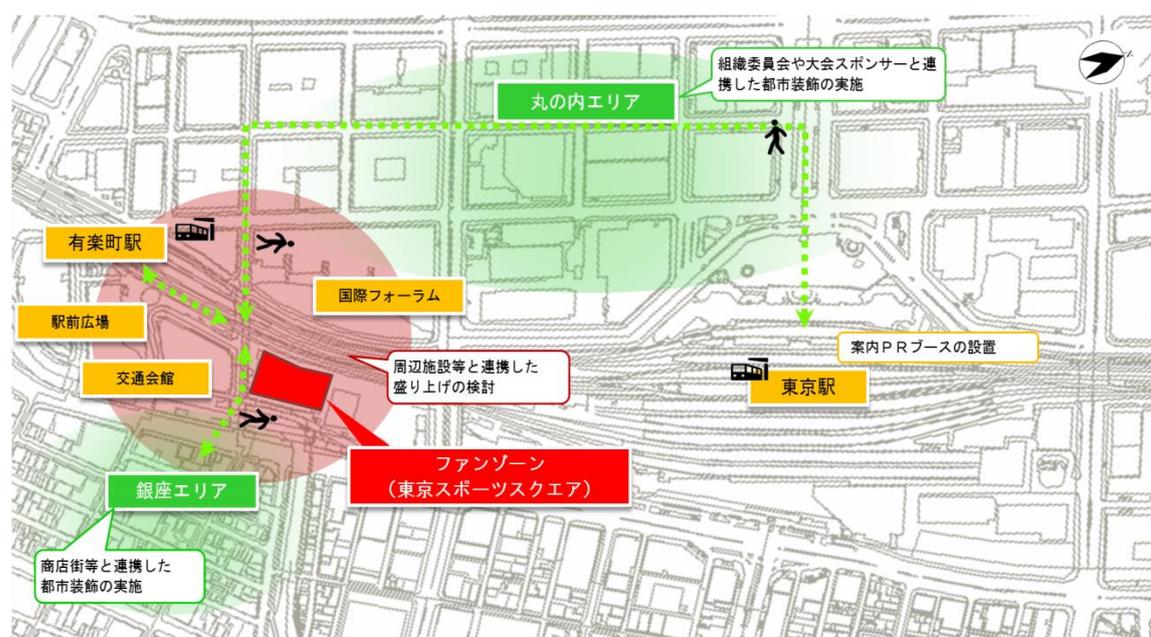
- ファンゾーンの基本コンセプトは、「1-2-1 基本的考え方」を踏まえ設定する。多摩会場と区部会場では、立地等の点で異なることから、上記の大会ビジョンをファンゾーンにおいて効果的に実現していくためには、それぞれの立地特性を十分に考慮し、個別にコンセプトを設定することが必要である。

【区部会場 基本コンセプト】

丸の内・銀座エリアへの広がりを持たせ、
東京・日本の玄関として、
国内外の来場者をおもてなし

- ・ 有楽町駅周辺施設を活用し、ファンゾーン内外でラグビーワールドカップへの期待と興奮を共有
- ・ JR2019 や大会スポンサーと連携を図りながら、丸の内エリアにおける都市装飾やの気運醸成と一体感を創出
- ・ 東京駅への案内ブース設置や銀座エリアへの街灯フラッグ掲出等も実施することで、国内外の観光客等にもPRし、ファンゾーンへ集客させる。

面的広がりを創出し、ラグビーワールドカップを広くPRするとともに、その中心拠点としてファンゾーンを運営していく。



3-2 開催日程

- ファンゾーンの開催日数について、ガイドラインは、以下の日を含み最低 10 日間開催するものとして、開催都市が設定すると規定している。都においては最低 13 日間となる。
 - (1) 自開催都市での RWC 試合日（都においては 8 日間）
 - (2) 全ての日本代表の試合（4 日間。うち 2 日間は(1)と重複）
 - (3) RWC 準決勝、決勝（3 日間）
- 都においては、より多くの方々に RWC2019 の興奮と感動を共有していただくため、上記の開催日数に加え、その他の土・日曜日を加えた 15 日間を開催日として設定する。
- さらに、上記以外の試合日である 11 日間についても、1 階部分を活用し、パブリックビューイングを中心とした内容により、開催する。
- なお、一部のケータリングや公式グッズ販売等の物販については、大会期間中の非試合日（18 日間）においても、大会スポンサー等と連携・調整を図りながら営業を行うことを検討する。
- ファンゾーンの開催時間について、ガイドラインは、以下の要素を考慮の上、開催都市が設定すると規定している。
 - (1) 試合のキックオフ時刻
 - (2) 公共交通機関の営業時間
 - (3) 市民の安全確保
 - (4) 近隣住民への騒音の影響
- 都においては、上記の要素を考慮し以下のとおり設定する。

日付	試合	東京スタジアムでの試合	開催時間	備考
9月20日（金）	開会式 プール戦	試合あり	12:00～22:00	
9月21日（土）	プール戦	試合あり	12:00～22:00	
9月22日（日）	プール戦		12:00～22:00	
9月23日（月）	プール戦		17:30～22:00	※パブリックビューイングを中心 に開催
9月24日（火）	プール戦		17:30～22:00	
9月25日（水）	プール戦		12:30～20:00	
9月26日（木）	プール戦		14:30～22:00	
9月28日（土）	プール戦		12:00～22:00	
9月29日（日）	プール戦	試合あり	12:00～20:00	
9月30日（月）	プール戦		17:30～22:00	※パブリックビューイングを中心 に開催
10月2日（水）	プール戦		15:00～22:00	
10月3日（木）	プール戦		12:30～22:00	
10月4日（金）	プール戦		16:30～21:30	
10月5日（土）	プール戦	試合あり	12:00～22:00	

10月6日(日)	プール戦	試合あり	12:00～20:00	
10月8日(火)	プール戦		17:30～22:00	※パブリックビューイングを中心に開催
10月9日(水)	プール戦		12:30～21:30	
10月11日(金)	プール戦		17:30～22:00	
10月12日(土)	プール戦		12:00～22:00	
10月13日(日)	プール戦		12:00～22:00	
10月19日(土)	準々決勝	試合あり	14:00～22:00	
10月20日(日)	準々決勝	試合あり	14:00～22:00	
10月26日(土)	準決勝		14:00～21:00	
10月27日(日)	準決勝		14:00～22:00	
11月1日(金)	3位決定戦	試合あり	14:00～22:00	
11月2日(土)	決勝 閉会式		14:00～22:00	

※ 物販については、大会スポンサー等と連携・調整を図りながら実施

※ 開催時間については、今後変更の可能性あり

3-3 来場者想定

- ファンゾーンへの来場者数については、会場の広さやコンテンツ、立地特性等の要素を踏まえ想定を行う必要がある。
- また、日本代表チームの試合日については、より多くの来場者が見込まれるため、試合内容により来場者数に幅を持たせた想定も必要である。
- 区部会場にあつては、パブリックビューイングを実施する開催日の1日当たりの来場者数を以下のとおり想定し、26日間で合計102,500人を想定

【区部会場 想定来場者数（パブリックビューイング実施日）】

- (1) 日本代表の試合日、土・日曜日（15日間） 1日当たり平均5,000人
- (2) 上記以外の平日の試合日（11日間） 1日当たり平均2,500人

3-4 実施コンテンツ

3-4-1 基本的考え方

- ガイドラインにおいては、以下のコンテンツを実施するエリアをファンゾーンに設置することが求められており、その具体的な内容については、都において検討し、JR2019 の承認のもと実施していくこととなる。
 - (1) パブリックビューイング
 - (2) スポンサーブース
 - (3) 公式グッズ販売
 - (4) ケータリング
 - (5) ステージイベント
 - (6) ラグビー体験
- 上記「3-1 基本コンセプト」を表現していくためには、ファンゾーンで実施するコンテンツの内容に創意工夫を凝らし、都ならではのものとし、来場者に高い満足感を得てもらえるものとする必要がある。
- そのためには、両会場の地域特性を十分に踏まえ、ファンゾーンへ来場する方々を想定するとともに、施設の特性によって生じる効果や制約等を踏まえ検討を行っていくものとする。

3-4-2 区部会場の特色

<地域特性>

- ・外国人を含む多くの観光客・買い物客が来訪
- ・有楽町駅は30～40代が50%程度、50代が20%程度
- ・銀座駅は女性利用者が50%超
- ・試合会場から離れているため、大会期間中はノンチケットホルダーが多く来場することが見込まれる。
 - 想定される主な来場者は、ラグビーファン、外国人（主にノンチケットホルダー）、観光客・買い物客、ビジネスパーソン 等

<施設特性>

- ・ファンゾーン会場として期間中の独占利用ができ、常設が可能
- ・屋内施設であるため天候や騒音等による影響なし。
- ・3フロアに分かれており、来場者がそれぞれで楽しめる内容の充実が必要
 - 装飾や光・音を活用した演出により、「みる」ことを通じた特別感の創出を中心に設定

3-4-3 パブリックビューイング

- 区部会場においては、以下のとおりパブリックビューイングを実施する。

会 場		特 色
区部 会場	東京スポーツスクエア 1階	<ul style="list-style-type: none">・ 2019年大会の全試合を放映・ 幅約10mの大型マルチビジョンと高性能音響設備を設置し、大迫力の観戦環境を提供・ さらに、多くの人々が観戦できるよう、サブビジョンを2台設置し、十分な観戦スペースを確保
	東京スポーツスクエア 2階	<ul style="list-style-type: none">・ 東京スタジアムでの試合及び大会期間中の土・日曜日の試合を放映・ 芝生を模した床面にゆったりと座って試合を観戦できる空間を創出・ ノンアルコールエリアに設定し、子供やお年寄りでも安心して楽しめる環境を提供

3-4-4 スポンサーブース

- ガイドラインに基づき、ワールドワイドパートナー、オフィシャルスポンサー、トーナメントサプライヤーの活動スペースとして、スポンサーブースを設置する。
- スポンサーブースへの出展の有無や具体的な活動内容は、JR2019を通じて都に情報提供が行われることとされており、これを踏まえ都において必要なスペースの確保や配置等を行う。

3-4-5 公式グッズ販売

- ガイドラインに基づき、RWC2019の公式グッズを販売するエリアを設置する。
- RWC2019の公式グッズの企画や販売等に関する権利は、RWCLと契約した事業者が有しており、ファンゾーン内における公式グッズ販売に係る活動は、当該事業者が実施する。
- できるだけ多くの来場者が希望する商品を購入できるよう、都は当該事業者と連携し、全体の運営を行う。
- できるだけ多くの来場者が希望する商品を購入できるよう、ファンゾーンの開催日以外の日にあっても公式グッズ販売のエリアの開放し、都は当該事業者と連携しながら、全体の運営を行う。

3-4-6 ケータリング

- ガイドラインに基づき、来場者に対して飲食の販売を行うケータリングエリアを設置する。
- メニューの設定にあたっては、誰もが気軽に楽しめ、また訪日外国人が日本の食文化を楽しめるとともに、出場チームの食文化を紹介できるようなものとする。
- なお、ガイドラインの規定により、大会スポンサー（ハイネケンやサントリーホールディ

ングス等)の スポンサーカテゴリと競合する品目は提供ができないものとされており、メニューの設定にあたっては、十分な注意を行う。

3-4-7 ステージイベント

- ガイドラインに基づき、会場内にステージを設置し、試合が行われていない時間帯において、イベントを実施することにより、会場の盛り上げを行う。
- 試合前においては試合への期待を高め、試合後には試合の余韻を楽しむことができるものとなるよう、試合の見どころ解説や試合を振り返るトークショー、コンサート、地域団体や文化・芸術団体によるパフォーマンス等を実施する。
- また、ファンゾーン多摩会場とインターネット中継で結び、会場の盛り上げを共有する。

3-4-8 ラグビー体験

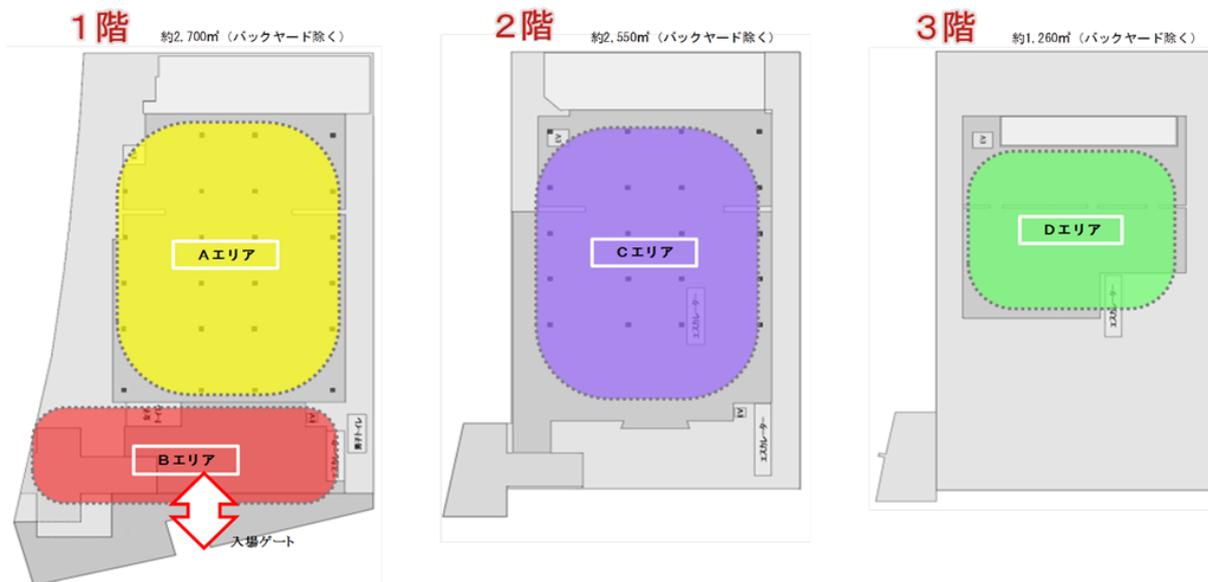
- ガイドラインに基づき、会場内にラグビーの普及活動や参加型体験が実施可能なエリアを設置する。
- 区部会場にあつては、大人でも楽しむことができるよう、RWC2019に関連する展示やフォトスポットの設置、各出場国の紹介など、試合への興味・関心をより深めるものを中心とした内容により実施する。

3-4-9 交流エリア

- 上記以外のコンテンツについても RWCL が事前に承認したものについては実施することができる。都においては、日本や都、地域の魅力を発信するとともに、国籍や応援するチームの垣根を超えて、相互に理解を深めることができる交流エリアを設置する。
- 区部会場にあつては、日本の伝統文化の体験、出場国の紹介、地元の観光PRや名産品の紹介、他の開催都市等に関する情報発信等により、日本全体のファンゾーンとして、来場者の交流できる空間を創出する。

3-5 区部会場の開催イメージ

【区部会場コンセプト】世界を感じる飲食とともに臨場感あふれるラグビー観戦



エリア	実施コンテンツ
Aエリア	パブリックビューイング、ステージイベント、ケータリング、ラグビー体験 (パブリックビューイングは全試合を予定)
Bエリア	ケータリング、公式グッズ販売 (大会期間を通じた営業を予定)
Cエリア	パブリックビューイング、ケータリング、ラグビー体験 (子供連れも楽しめるノンアルコールエリアとして設置)
Dエリア	交流エリア (実施場所が不足する場合は、会場周辺施設も活用)

※ 周辺施設等と連携し周辺エリアにおいても盛り上げを図る。

4 実施にあたっての留意点

4-1 警備

- ファンゾーンにおける事故を未然に防ぎ、また、万が一事故が発生した場合には、迅速に適切な対応できるよう、ファンゾーンの運営本部に専門事業者による警備部門を設置する。
- 警備部門は会場内の安全確保に努め、緊急時には運営本部を通じ、警視庁や東京消防庁等の関係機関へ速やかに連絡・協議を行う。
- JR2019 が策定した「警備実施要領」においては、「入場ゲートにおいてスクリーニングを実施」することが規定されている。
- 多摩会場においては、市民生活や周辺店舗等への影響を踏まえ、一定の範囲にガードフェンスを設置する
- 各会場において、入場時に手荷物検査を実施し、危険物又はそれに類する物品の持ち込みを排除する。

4-2 医療

- 各会場に看護師等を配置し、適切な応急措置が実施できる体制を検討する。
- 状況に応じ、救急対応ができるよう、東京消防庁や各医療機関と連携する。

4-3 ボランティア

- ファンゾーンの実施にあたっては、大会ボランティアの方々にご協力をいただき、来場者の案内誘導や、おもてなしを行っていく。

4-4 多言語対応

- JR2019 が試合会場周辺における誘導サインの基準として策定した「誘導サインガイドライン」においては、誘導サインは「日本語と英語を使用し、英語を上部に配置して二言語で表記」することが規定されている。ファンゾーンにおいても、試合会場との統一性を図るため、これに準じた対応を図るものとする。
- また、東京スタジアムで試合が開催される日については、応援に訪れた外国人が、ファンゾーンに多く来場することが見込まれることから、更なる多言語対応の実施を検討する。

4-5 アクセシビリティ対応

- 高齢者や体の不自由な方、小さな子供連れの方なども安心して来場でき、楽しむことができるものとする。具体的には、多目的トイレの設置、車椅子が通れる通行幅の確保、車椅子用パブリックビューイングスペースの確保等に向けて検討する。

4-6 受動喫煙対策

- ファンゾーン会場は完全禁煙の方向で検討する。

4-7 環境配慮の取組

- ファンゾーン会場におけるワンウェイプラスチック対策については、事業者などから情報収集を行いながら、飲食提供におけるプラスチック製ストローの不使用、プラスチックではない食器類の使用やリサイクル等について、衛生面への配慮や費用対効果等を踏まえ検討する。
- ファンゾーン会場において活動を行うワールドワイドパートナー、オフィシャルスポンサー、トーナメントサプライヤー等に対しても、環境配慮の取組について理解を求めていく。

ラグビーワールドカップ2019™ 試合日程

日本代表戦 (赤字) 東京スタジアム試合日 (青字)

week	月	火	水	木	金	土	日
week 1					9/20 13:45~@東京 日本 vs ロシア	21 13:45~@札幌 オーストラリアvsフィジー 16:15~@東京 フランスvsアルゼンチン 18:45~@横浜 ニュージーランドvs南アフリカ	22 14:15~@東大阪 イタリヤvsパナマ 16:45~@横浜 アイルランドvsスコットランド 19:15~@札幌 イングランドvsネパ
week 2	23 19:15~@豊田 ウェールズvsジョージア	24 19:15~@熊谷 ロシアvsサモア	25 14:15~@釜石 フィジーvsアルガイ	26 16:45~@博多 イタリヤvsカナダ 19:45~@神戸 イングランドvsアメリカ	27 13:45~@東大阪 アルゼンチンvsネパ 16:15~@静岡 日本vsアイルランド 18:45~@豊田 南アフリカvsパナマ	28 13:45~@東大阪 アルゼンチンvsネパ 16:15~@静岡 日本vsアイルランド 18:45~@豊田 南アフリカvsパナマ	29 14:15~@熊谷 ジョージアvsアルガイ 16:45~@東京 オーストラリアvsウェールズ
week 3	30 19:15~@神戸 スコットランドvsサモア	10/1	2 16:45~@博多 フランスvsアメリカ 19:15~@大分 ニュージーランドvsカナダ	3 14:15~@東大阪 ジョージアvsフィジー 19:15~@神戸 アイルランドvsロシア	4 18:45~@静岡 南アフリカvsイタリヤ	5 14:15~@大分 オーストラリアvsアルガイ 17:00~@東京 イングランドvsアルゼンチン 19:30~@豊田 日本 vs サモア	6 13:45~@東宮 ニュージーランドvsパナマ 16:45~@熊本 フランスvsネパ
week 4	7	8 19:15~@神戸 南アフリカvsカナダ	9 13:45~@熊谷 アルゼンチンvsアメリカ 16:15~@静岡 スコットランドvsロシア 18:45~@大分 ウェールズvsフィジー	10 13:45~@熊田 ニュージーランドvsイタリヤ 17:15~@横浜 イングランドvsフランス 19:45~@博多 アイルランドvsサモア	11 19:15~@静岡 オーストラリアvsジョージア	12 13:45~@豊田 ニュージーランドvsイタリヤ 17:15~@横浜 イングランドvsフランス 19:45~@博多 アイルランドvsサモア	13 12:15~@釜石 パナマvsカナダ 14:45~@東大阪 アメリカvsネパ 17:15~@熊本 ウェールズvsアルガイ 19:45~@横浜 日本vsスコットランド
week 5	14	15	16	17	18 16:15~@大分 韓国vs決勝 19:15~@東京 韓国vs決勝	19 16:15~@大分 韓国vs決勝 19:15~@東京 韓国vs決勝	20 16:15~@大分 韓国vs決勝 19:15~@東京 韓国vs決勝
week 6	21	22	23	24	25 17:00~@東京 三位決定戦	26 17:00~@横浜 韓国vs勝1	27 18:00~@横浜 韓国vs勝2
week 7	28		30	31	11/1 18:00~@東京 三位決定戦	11/2 18:00~@横浜 決勝	